

様式第5号(第5条関係)

令和7年4月21日

愛西市議会議長
近藤 武 様

愛西市議会議員 中村 文武

令和6 年度政務活動費収支報告書

愛西市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 収 入	<u>195,000 円</u>
(政務活動費	195,000 円)
(利 息	0 円)
2 支 出	<u>58,200 円</u>

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費		
研 修 費	58,200	全国都市問題会議など
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
合 計	58,200	

3 残 余 金 136,800 円

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。



様式第6号(第5条関係)

令和6 年度政務活動費収支報告書

愛西市議会議員 中村 文武

(単位 円)

	領収書番号	内容	支出額
調査研究費			
			0
研修費	1	決算審議特別研修	30,000
	2	全国都市問題会議参加費	13,000
	3	全国都市問題会議宿泊費	15,200
			58,200
広報費			
			0
広聴費			
			0
費請・陳情活動費			
			0
会議費			
			0
資料購入費			
			0
支出額計			58,200
収入額計			195,000
残 余 金			136,800

様式第7号(第5条関係)

政務活動費支出明細書

氏 名		会計年度	領収書番号
中村 文武		6年度	1
項 目	☐ 1 調査研究費 ☒ 2 研 修 費 ☐ 3 広 報 費 ☐ 4 広 聴 費 ☐ 5 要請・陳情活動費 ☐ 6 会 議 費 ☐ 7 資料作成費 ☐ 8 資料購入費		支出日 令和6年7月27日
政務活動費 充当支出金額	金. 30,000 円		
按分または 一部充当の場合	政務活動費からの支出割合() 領収書金額 金. 円 領収書原本は ()議員に添付		
支 出 方 法	☐ 全額個人 ☐ 按分(按分人数 人 1人あたり 円) 按分者名 [] 按分割合の根拠 ()		
内 容	決算審議特別研修		

領 収 証

2024 年 7 月 27 日

中村文武 様



¥30,000

但 7/27 10時～ 決算審議特別研修1
7/27 14時～ 決算審議特別研修2
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001
大阪府大阪市北
大阪駅前第2ビル
TEL 050-68

政務活動費支出明細書

氏 名		会計年度	領収書番号
中村 文武		6年度	2
項 目	☐ 1 調査研究費 ☐ 5 要請・陳情活動費 ☒ 2 研 修 費 ☐ 6 会 議 費 ☐ 3 広 報 費 ☐ 7 資料作成費 ☐ 4 広 聴 費 ☐ 8 資料購入費	支出日 令和6年10月17日	
政務活動費 充当支出金額	金. 13,000 円		
按分または 一部充当の場合	政務活動費からの支出割合() 領収書金額 金. 円 領収書原本は () 議員に添付		
支 出 方 法	☐ 全額個人 ☐ 按分(按分人数 人 1人あたり 円) 按分者名 [] 按分割合の根拠 ()		
内 容	全国都市問題会議参加費		
《領収書及び購入した物品等がわかる写真等貼付欄》			

会議参加費 領収書

中村 文武

様

金 13,000 円

但、「第 86 回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和 6 年 10 月 17 日

第 86 回全国都市問題会議実行
会 長 清 元 秀

様式第7号(第5条関係)

政務活動費支出明細書

氏 名		会計年度	領収書番号
中村 文武		6年度	3
項 目	☐ 1 調査研究費 ☒ 2 研 修 費 ☐ 3 広 報 費 ☐ 4 広 聴 費 ☐ 5 要請・陳情活動費 ☐ 6 会 議 費 ☐ 7 資料作成費 ☐ 8 資料購入費	支出日 令和6年10月19日	
政務活動費 充当支出金額	金. 15,200 円		
按分または 一部充当の場合	政務活動費からの支出割合() 領収書金額 金. 円 領収書原本は ()議員に添付		
支 出 方 法	☐ 全額個人 ☐ 按分(按分人数 人 1人あたり 円) 按分者名 [] 按分割合の根拠 ()		
内 容	全国都市問題会議宿泊費		
《領収書及び購入した物品等がわかる写真等貼付欄》			

収入印紙

領収証発行日: 2024/10/19

1 / 2

株式会社JTB姫路支店
〒670-0962
姫路市南駅前町100 パラソ2 2階
支店長 四宮 幹人

領収証番号: 324396653000103001
登録番号: T8010701012863

領 収 証

中村 文武 様

下記のとおり領収いたしました。

領収額合計	¥15,200	(税込)
イベント名	第86回全国都市問題会議	
イベント会期	2024/10/17 ~ 2024/10/18	
請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
	¥15,200	¥1,381 -
(10%対象)	¥15,200	¥1,381 -
(8%対象)	¥0	¥0 ※1
(対象外)	¥0	¥0 ※2
入金額	¥15,200	
請求残額	¥0	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

領収証備考

明細は次頁以降をご参照ください。

様式第10号（第6条関係）

令和6年7月29日

愛西市議会議員

近藤 武 様

愛西市議会議員 中村文武

先進地調査等成果報告書

（先進地調査を・研修に・研修を）下記のとおり（実施・参加）しましたので、愛西市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第2項の規定により報告します。

記

1. 調査・研修日	令和6年7月27日（土）		
2. 調査・研修先	地方議員研究会 決算審議特別セミナー		
3. 調査・研修内容	決算で聞くべき内容等		
4. 行 程	岐阜羽島⇒新大阪⇒研修会場		
5. 参加者	中村文武		
6. 経費内訳	費 目	内 容	金 額
	研修費	受講料	30,000
	交通費	岐阜羽島－新大阪（往復）	10,800
	合 計		40,800
7. 成果・提言	別紙のとおり		



成果報告書

政務調査の概要は下記のとおりでした。

期 日	令和 6 年 7 月 27 日 土曜日 10 時から 16 時半
用 務 先	大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第 4 ビル
用務の概要	記 1 決算審議特別セミナー 決算を語る（午前） （1）監査委員の監査より踏み込む 効率性や必要性、行政のむびよう性を問う場 不用額が多いところの指摘を。不用額一覧を出してもらうように。 寝屋川市は 50 万以上を一覧化している。 （2）決算カードを総務省のホームページから近隣自治体も確認 （3）確実に聞くべきこと 前年度と変化が大きい事業、財源内訳の変化、不用額の多い事業 少子化対策などのトレンド、行政区域内の地域差（施設、インフラ） K P I 達成状況、費用対効果や波及効果（給食費無償化など）、多自治 体に負けない人材確保、休退職・承認昇格、直営の方が効率的な委 託事業、防災対策などの実績。外郭団体への補助金（今は運営補助か ら事業補助に移行している。定額補助や単なる人件費補助は質問する こと）広域負担金。 （4）聞いてはだめな質問 一方的な批判や事業失敗の烙印。 答弁に対して、「そうじゃない」 例 7 割満足してるのに、3 割の不満 の一部を市民の声だということ。 人数などの根拠を示していることを内心思っていますよ。 逆に言うと、数的根拠を出されると「痛いところくな」と思う 予算審議で賛成したじゃないか？！という質問 重複や同じこと聞く質問 「これはどんな事業ですか？」（予習不足） どんな施策にも費用対効果を問う 例：自殺対策の効果とか定量的に計られない福祉政策 思い込みや好みの感覚で批判 今後の方向性や決意 他に聞くことないの？と思う。予算要求前ではまともな答弁できない。 2. 決算審議特別セミナー 決算を語る（午後） （1）行政が聞かれたくない（答弁が難しい）事項 改善のため経費投入しても実績があがっていない。 部署廃止、人員削減を行って実績上がっていない。 解釈の分かれる課題を同じ立場で違う方向から 環境、高齢者無料パス

ある会派の要望で実現した政策を同じ場での賛意、批判
答弁があやふやな課長がいる所 どんどん質問して鍛えて欲しい

(2) 行政に刺さる良い質疑実例

3 者コミュニケーションツールとビデオ通話相談窓口は同じような事業で整理必要では？

まず評価すべき点を評価して、要望なり質問する。

(3) 実績数字だけでなく取組みを聞く

〇〇委員会というのがありましたが、課題を整理されて、どのように検討や取組みをされたのか教えてください。

(4) 行政の急所にテキサスヒットする質疑

県や年金機構など業務で統計データを把握することなく機械的に実施している事業

一般質問等を再チェックし、未着手、調査研究してまいります等の進捗状況を尋ねる。

子ども関連施策は結構ダブっているのでもいい質問になる。

保育士の確保と保育園とどういう連携をしているのか。

(5) R 5 年度決算で聞くべき事業

実績・成果・効果

歳入：ここ 5 年の経緯、差し押さえの現況

地方交付税交付金、ふるさと納税の推移

事業費は同じ金額だが内訳が異なるもの

随意契約の状況 長年随契は厳しくチェック

プロポーザルの場合選定委員会構成や議事録

(6) 全国的なトレンド

災害、減災対策、子育て支援、給食無償化、教育振興、経済・雇用対策、医療費助成、DX、高齢者外出支援、再開発、公共施設再編

⇒流行りで取り組んでいるのではなく、地域に根差した実効性はあるか

(7) あらゆる準備は行う

関連行政計画を再確認

所信表明以前以降の差異や進捗

過去の関連質疑を議事録で確認

審議前の資料請求を積極的に

開示請求も必要に応じ

(8) 決算審議と議員活動への連動のススメ

重箱の隅をつつかずに。

失点を手柄にしようとするのは残念な議員

決算審議⇒一般質問⇒決算審議と一貫性のある質問をすると評価高い

情報を持っている議員<知識のある議員<教養のある議員<文化的素養のある議員になってほしい。

決算審議を問答無用で追求するのは正論だが正解ではない。

質疑応答

(1) 提案した方がいいとよく言われるがどうすれば、

⇒改善も提案なので小さいことからでも提案してみて

(2) 外郭団体の事業内容については方がいいとあったが、

例えば、子ども会や自治会への参加が減少していて、子ども会や自治会について、市も何とかしたいはずだが、どう質問すればいいのか。

⇒子ども会や自治会について、円滑に運営するためまた、加入率を

増やすためにはどうすればいいと考えているのかなど連携などの視点を入れてまず聞く。その後、ありきたりの答弁があるかもしれないがその後に、踏み込んで聞いていたり、一般質問で掘り下げたりすればいい。

提言:寝屋川市は決算を3分科会に分けて3日間審議している。(予算規模990億、人口22万人)人口規模が違うため同日程とは言えないが、2日間に分けて決算審議をすることにより、より良い行政サービスにつながる。

令和6年10月21日

愛西市議会議長

近藤 武 様

愛西市議会議員 中村文武

先進地調査等成果報告書

（先進地調査を・研修に・研修を）下記のとおり（実施・参加）しましたので、愛西市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第2項の規定により報告します。

記

1. 調査・研修日	令和6年10月17日（木）10月18日（金）		
2. 調査・研修先	全国都市問題会議		
3. 調査・研修内容	各自治体がまちづくりで抱える課題解決		
4. 行 程	名古屋⇒姫路		
5. 参加者	中村文武		
6. 経費内訳	費 目	内 容	金 額
	研修費	受講料	13,000
	宿泊費	リブマックスプレミアム姫路駅南	15,200
	交通費	名古屋駅⇒姫路駅	8770
		姫路駅⇒名古屋駅	9500
	合 計		46,470
7. 成果・提言	別紙のとおり		



成果報告書

政務調査の概要は下記のとおりでした。

期 日	令和6年10月17日（木）10月18日（金）
用 務 先	アクリエ姫路
用務の概要	記 1 【生物学者福岡伸一氏】：動的平衡 生物は、作ることよりも壊すことを優先 生命現象はあらゆるものが壊される事を想定して作られている そのことは、組織論やまちづくり論と同じ 放置するとエントロピー（煩雑さ）が増大して にっちもさっちも行かなくなる。壊して、バランスを保つことが大事。 2 【姫路市長清元秀泰氏】：LIFE を守り支える姫路の健康づくり ウォーカブルな街づくり、歩行者天国やマルシェを開催、歩行者利便増進道路制度を活用し、テーブルなどの常設占用物を設置し、賑わいを作り出した。 マイナンバー保険証による緊急搬送の迅速化に取り組む。 緊急時も迅速に適切な医療機関に搬送できる。これもデジタル化の好影響なところ。 ミライエという子育て支援センターを作り、思春期から産後までワンストップの子育て支援策をやり始めた。 3 【筑波大学教授谷口守氏】：生き物から学ぶまちづくり バイオミメティクスとまちづくりを考えると、誰もが分かりやすい説明が可能。 都市は病気！？と考えるとわかりやすい。 肥満：作りすぎた住宅地が余る事。 骨粗しょう症：空き家が増えたり、バス等が廃止されること。 がん：老朽化した中高層住宅をタワーマンションに建て替えるなど 何が治療法か。。。. 歩きやすい町を作らないといけない。 コンパクトシティが一つのキーワードになる。 都市計画をきっちりしないとコンパクトシティにならない。 人が歩いて、公共交通を活用するにはこれしかない。 4 【流山市長井崎義治氏】：都市そのものを健康にするまちづくり 就任後二大危機 ① 少子高齢化 ②つくばエクスプレスによる宅地開発に伴う売れ残りの可

能性。594 億の事業、失敗したら倒産する。

まず SWOT 分析を行い強み弱みを洗い出し、職員に意識づけ。
都会に近い森の街としてキャッチコピーを売り出し、共働きファミリー層を
メインターゲットに政策を打つ。
共働きにとって保育園の送迎がもっとも大変。
出勤前に駅前に送迎する仕組みを作った。
当初、メインターゲットという思想が職員に定着しなかった。
そこにだけ売るのではなく、そこをターゲットにして他の世代にも合わせて
売れると言う事を知ってもらいたかった。

その施策により毎年転入超過、結果 20 年で約 60,000 人増加。

5【兵庫県立大学副学長 畑豊】: IT, AI の健康分野への適用
高齢者の亡くなるのは誤嚥性肺炎が多い。
カラオケや詩吟なども良い。
ファジー理論により健康診断の結果をわかりやすく点数化することで
全国平均より何が悪いか一目瞭然となる。つまり、自治体にとっては施策が
打ちやすくなる。

6【パネルディスカッション】

子どもとは未来の大人
生きづらい子ども達をどう支えるか。
その文脈として
未来のまちを作る人
→未来の健全な大人をどう作るのか。
→本人に余裕がある必要がある。

心理社会面の健康が次の課題。
援助希求能力、
大切な価値がある事をわからせる。

不登校は増加
自傷自殺も増加
居場所のない子どもを搾取するダメな大人がいる。

背景
息苦しい現代社会 →人間の弱さを包摂する社会の度量が必要。

子供の健康施策はまちの未来づくり
一元化した子ども支援が必要
部門間連携は大事。
統合子育ての支援部門の設置が必要

【感想、提言】

コンパクトシティはやらざるを得ないかもしれないが、果たして市民の理解
を得られるかどうか。
子ども達のために何が出来るか不登校対策を重層的に取り組む必要性を感じ
た。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・学校に来れるように・オンラインでも学べるように・学校以外の居場所が複数あるように（スマイルだけでも足りない）・公園等の遊び場の確保・子ども達は宝という雰囲気づくり⇒子ども達の活動に批判が多い現状の改善。 |
|--|--|